

アシナガバチに気を付けましょう

アシナガバチの特徴と巣の駆除方法についてご紹介します。



八丈島にはもともとアシナガバチの仲間は生息していませんでしたが、2013 年にセグロアシナガバチが確認され、年々増加しています。

【アシナガバチの特徴】

セグロアシナガバチは、体長 21～26 ミリメートルのおとなしい性格のハチです。胴体が黒く鮮やかな黄色の縞模様があり、長い後ろ足をたらしてフラフラ飛びます。草木や農作物の青虫やケムシなどの昆虫を食べてくれる益虫でもあります。

攻撃性は弱く、何もしなければ襲ってくることはありません。手でハチを追いついたり、誤って巣を刺激してしまい刺されることが大半です。繁殖期である夏から秋にかけては、巣を守るため興奮しやすくなるとわれています。

【アシナガバチの巣】

ハスの実やお椀を伏せたような形状をしており、幼虫を育てる 6 角形の穴が外から見えます。成人男性の握りこぶし程度の大きさで、低木や草むら、家の軒下、ひさし、ベランダなどに営巣します。



写真提供：八丈ビジターセンター（4 枚とも）

【巣の駆除方法】

町役場では、私有地内のアシナガバチの駆除や費用助成はおこなっておりません。

駆除される際は、下記の駆除業者(島内に 2 社)に依頼するか、ご自身でおこなってください。

○高橋建設(有) (電話 2-1441)

○合同会社浄栄 八丈島営業所便利屋「文武ん」(元便利屋 猫の手)

(電話 080-7835-0839)

アシナガバチの巣は、市販のスプレー殺虫剤を使用して比較的容易に駆除できますが、次の点に注意して慎重に作業してください。

- ・駆除はなるべく夕方から夜間におこなう。(昼行性なので働きバチが巣に戻り活動が弱まります。)
- ・服装は白がおすすめ。(黒い物体を攻撃する習性があります。)
- ・服装は長袖、長ズボン、帽子、手袋、マスク等を着用し肌の露出をなくす。
- ・風上から静かに近づいて狙いを定め、市販のスプレー殺虫剤を一気に 20～30 秒間噴霧し続ける。(ハチが一斉に飛び立ちますが、恐れずに噴霧し続けるのがポイント。逃げるのに必死でこちらには刺しにきません。)
- ・アシナガバチは数秒でも殺虫剤成分に触れると攻撃性がなくなって死んでいきます。
- ・翌日以降、ハチがいなくなったことを確認したら、巣を切り落とし袋に入れて捨ててください。

【アシナガバチに刺されたら】

- ・刺されると強い痛みを伴って大きく腫れ上がり、数日間症状が続く。
- ・まず傷口を洗い、毒をしぼり出す。(患部を冷やし毒をうすめるため、流水で洗い流しましょう。)
- ・傷口に虫刺され用の薬を塗り、患部を冷やして安静にする。(冷やすことで毒のまわりを遅くする効果があります。)

2 回目以降にハチに刺されると、まれにアナフィラキシーショックを発症する体質の方がおられます。

刺されたあと、吐き気や息苦しさなど体調がおかしいと感じたら、至急病院を受診して処置を受けてください。

お問い合わせ 住民課環境係 電話 2-1123